



あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZONE NEWS

モエ7★カムイ

NO. 24

APRIL
1991



オシドリ *Aix galericulata*



🐾ごあいさつ🐾

モユク・カムイ24号をお届けします。
手書き、手づくりで出発したモユク・カムイも24号目で装いを変えて印刷にすることができました。

スタッフは、今までは使うことができずにくやしい思いをしてきた写真を使って、動物たちのすばらしさや動物園の楽しいニュースを沢山掲載できるようになり張り切っております。

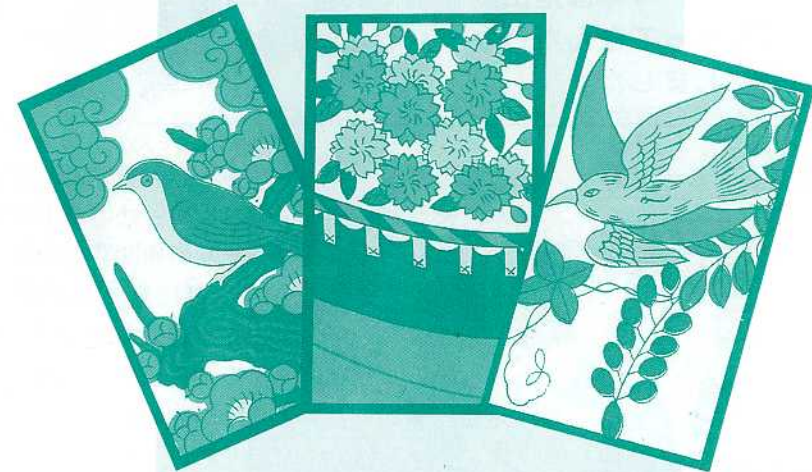
いつまでも出発の原点である手づくりの味を失うことなく続けたいと思います。

どうぞ変わることなくご愛読下さい。

園長 菅野 浩

🐾もくじ🐾

- 2 ほっと ひとPhot—
- 3 新・どうぶつ解析考—花札の春
- 4.5 シリーズ「動物ってなんだろう？」
第4回 「サル」その1原猿
- 6.7 旭山どうぶつえん春のマップ
—赤ちゃんいたかな?—
- 8 動物園放浪記—ちあきの巻①—
Vet News (動物病院から)
- 9 飼育研究レポート
—アフリカゾウ看病記—
- 10 ゲンちゃんの追求コーナー
—ヘビのしっぽはどこ?—
クイズ
- 11 飼育日誌
お知らせ



新・どうぶつ解析考

花札の春

- 2月 梅に鶯 (ウグイス)
まさに春である。
梅の赤とうぐいす色のとり合わせ
何とも言えず美しい。
- 3月 桜に幔幕
北海道の春は桜。
幔幕の中で一杯だけでは、ちと不満
ヒメギフチョウでも舞わせてほしい。
- 4月 藤に郭公 (カッコウ)
ウグイスを追ってカッコウが来る。
自然とともに生きていたからこそその
観察眼。感服させられる。

動物と人との関わりを考えるページがあってもいいのではないかな。

……と考えた。

第4回 サル

旭山動物園ではこの春新しく「ワオキツネザル」というちょっとかわった“さるらしくないサル”がやってきました。そこで、今年は旭山動物園で飼育されているサルを中心に「サルってなんだろう？」を4回にわたって探ってみることにしました。



その1 さるらしくないサルの仲間

原猿

みなさんがよく知っている“お猿さん”といえばニホンザル、マントヒヒ、チンパンジーなどがあげられると思います。かれらは霊長目（サルの仲間）の中の「真猿（ほんとうのサルという意味）」と呼ばれています。これに対し、もっと古いタイプの原始的な特徴を持っていて、一見したところ猿らしくないサルのグループがあります。かれらは「原猿（原始的なサル）」と呼ばれ、キツネザル科、コビトキツネザル科、インドリ科、アイアイ科、ロリス科、メガネザル科の6つに大きく分けられています。



●キツネザル

原猿のうち最大のグループ（4科12属22種）で、現在ではすべての種がアフリカ南東部のマダガスカル島にのみすんでいる。

マダガスカル島は白亜紀(恐竜のいた頃)以来、アフリカ大陸から隔離されたままなので、キツネザルの祖先がどのようにしてこの島へやってきたのかは謎とされている。

マダガスカル島では競争相手となる哺乳類がいなかったり、他の高等なサルがこの島へやってこなかったため、島内のあらゆる地域、生活環境へ適応することができた。

- キツネザル科ー
ワオキツネザル
エリマキキツネザル
イタチキツネザル
など10種
- コビトキツネザル科ー
ミミゲコビトキツネザル
など7種
- インドリ科ーインドリ
シファカ
アバヒ
など4種
- アイアイ科ーアイアイ 1種

●ポットー



●エリマキキツネザル ●ショウガラゴ ●メガネザル

尾

名前のおり白と黒の“輪の尾”がよく目立ち、その尾をS字状に高くかかげて仲間との信号などに使う。オトナのオスでは前あしの内側にある分泌腺から出る特有な臭いを尾につけてなわばりの防衛に使う。

群れ

数頭のオトナオスを中心にオトナメス、コドモ、アカンボウで5~30頭の群れをつくる

体重 2.3~3.5kg

後あしが前あしにくらべて長い
キツネザルの仲間では最も
地上性が高い

あし

ワオキツネザル

Ring-tailed Lemur
Lemur catta

顔 道化師そっくり
目と口、鼻が黒

目 昼間活動する

鼻 鼻面は黒く、突き出している
先端は無毛で湿っている
嗅覚は発達している

食べ物 果実、花、木の葉など



絶滅の歴史

キツネザルの化石はマダガスカル島以外では見つからない。発見されるものも過去3千年以内に絶滅したもので、半化石状態で見つかる。

人間がこの島に移住したのが原因で、絶滅の歴史が始まった。おもに狩猟、山火事や牧畜による森林の破壊も絶滅を速めた。

セントバーナード犬ほどの大きさのメガラダピス、オランウータンに似たパレオピテクス、地上性のアーケオプロピテクス、パドプロピテクスなどは初期の移住者のよい食料となったであろう。

ツパイはなんの仲間？

ツパイという名のとても不思議な動物がいます。アジアやアフリカの森にすむリスほどの大きさの動物です。その姿・形から「食虫目（モグラの仲間）」に分類されていましたが、サルの特徴もあわせ持つところから、もっとも原始的なサルであろうということで「霊長目（サルの仲間）」に分類されるようになりました。

ところが、研究が進むにつれて原始哺乳類の特徴を持つ特殊な動物であることがわかり、現在では「ツパイ目」という独立したグループに分類されています。

ツパイ自身にとっては、そんなことはどうでもいいことなのでしょうが、研究者にとっては重大な問題で、学名さえも変わることがあります。また、意見が分かれてしまっていて、われわれが困ってしまうこともあります。

